

アルミ合金製 昇降式移動足場

(社)仮設工業会 認定品

ラックスター 取扱説明書

PAT.P 国際特許出願中



リーラック機材株式会社

1. ご使用になる前に必ずお読みください！

- このたびは本製品をお使い頂きありがとうございます。
- この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意点について書かれています。
- 製品をお使いになる前に必ずこの説明書をお読みになり、本製品の内容を十分に理解してから正しく安全にお使いください。
- また、お読みになった後も、この説明書をすぐ取り出せる所へ大切に保管してください。

2. 目 次

1. ご使用になる前に必ずお読みください！	1
2. 目 次	1
3. 昇降式移動足場『ラックスター』の特長	1
4. 安全上のご注意必ずお守りください！	2
5. 各部の名称	3
6. 昇降式移動足場『ラックスター』仕様	4
7. 操作手順	5
I. 台車の固定	5
II. 手摺の固定	5
III. 上段ステージ枠の上昇、固定	6～8
IV. 作業ステージへの昇降	8
V. 収納手順	9～10
8. 保管の仕方	10
お問い合わせ先	

3. 昇降式移動足場『ラックスター』の特長

ラックスターは従来の昇降式移動足場の問題点を解決した画期的な商品です！

- ① ラックスターは、軽く、さびにくいアルミ合金製の昇降式移動足場です。
- ② やぐら式構造で四隅の支柱で支える為作業ステージの揺れはほとんどありません。
- ③ 作業ステージの高さは1780mm～3650mmまで10段階の高さ設定が出来ます。
- ④ 作業ステージの各段の固定はそれぞれロック式になっている為、長期の定位置保持にも問題ありません。
- ⑤ 昇降機構とやぐら固定機構とが別の為作業ステージの安全が確保されます。
- ⑥ 作業ステージへの出入りは常備された梯子を使用し、どの段でも常時昇降出入りが可能です。
- ⑦ 各やぐらの昇降操作は手動の為、電源の確保や充電の必要がありません。

4. 安全上のご注意 必ずお守りください！

- 昇降式移動足場『ラックスター』を安全に正しくお使いいただくため、製品本体や取扱説明書に表示の、危険・警告・注意の指示は特に注意してお読みください。

〔表示マークの説明〕



危険

記載されている内容を守らず取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性(切迫の度合い)が高い限定的な場合を示します。



警告

記載されている内容を守らず取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示します。



注意

記載されている内容を守らず取り扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する状態が生じることが想定される場合を示します。



危険



設置作業は操作手順ののっとりて確実に行って下さい。
■手順を間違えると本体の損傷や重大事故につながります。



作業台の上昇・下降操作中は絶対に本体内に入ったり手足を添えないで下さい。
■可動部にはさまれ、けが、死亡の原因となります。



作業ステージに乗っての昇降、移動操作は絶対に行わないで下さい。
■転落や転倒により、けが、死亡の原因となります。



作業ステージの手摺の固定、連結は確実に行って下さい。
■転落事故などの重大事故につながります。



作業ステージの手摺に乗ったり、手摺から身を乗り出したり、ぶら下がったりしないで下さい。
■支柱や手摺が変形したり破損の原因になります。
また、落下すると死亡事故につながる危険があります。



警告



作業ステージへの昇降は必ず梯子を使用し、床設定2370以上の場合は必ず上段内蔵梯子を使って内側から行って下さい。
■転落事故の原因になります。



本体内に工具や物品を入れたり仮置きしたりしないで下さい。
■可動部に噛み込むなどして作動不良や破損の原因となります。



作業ステージでは最大積載荷重(140Kg)を守って下さい。
■転倒、破損の原因となります。



本体に物をぶつかけたり、叩いたりしないで下さい。
■変形の部位によっては作動不良を起こす原因となります。



リリースバルブは降下時以外は必ず“締め”の状態にしておいてください。
■昇降機構が適確に動作しなくなります。



注意



移動の際は周りの安全を確かめた上で移動して下さい。
■衝突等によりけが、物損の原因となります。



作業ステージ上で揺すったり暴れたりしないで下さい。
■変形、破損の原因となります。



本体の搬送、積載の際は本体に付属しているフォークガードやロープフックを使用して下さい。
■上記以外の場所を使用すると機構部の破損や構造体の変形の原因となります。

5. 各部の名称

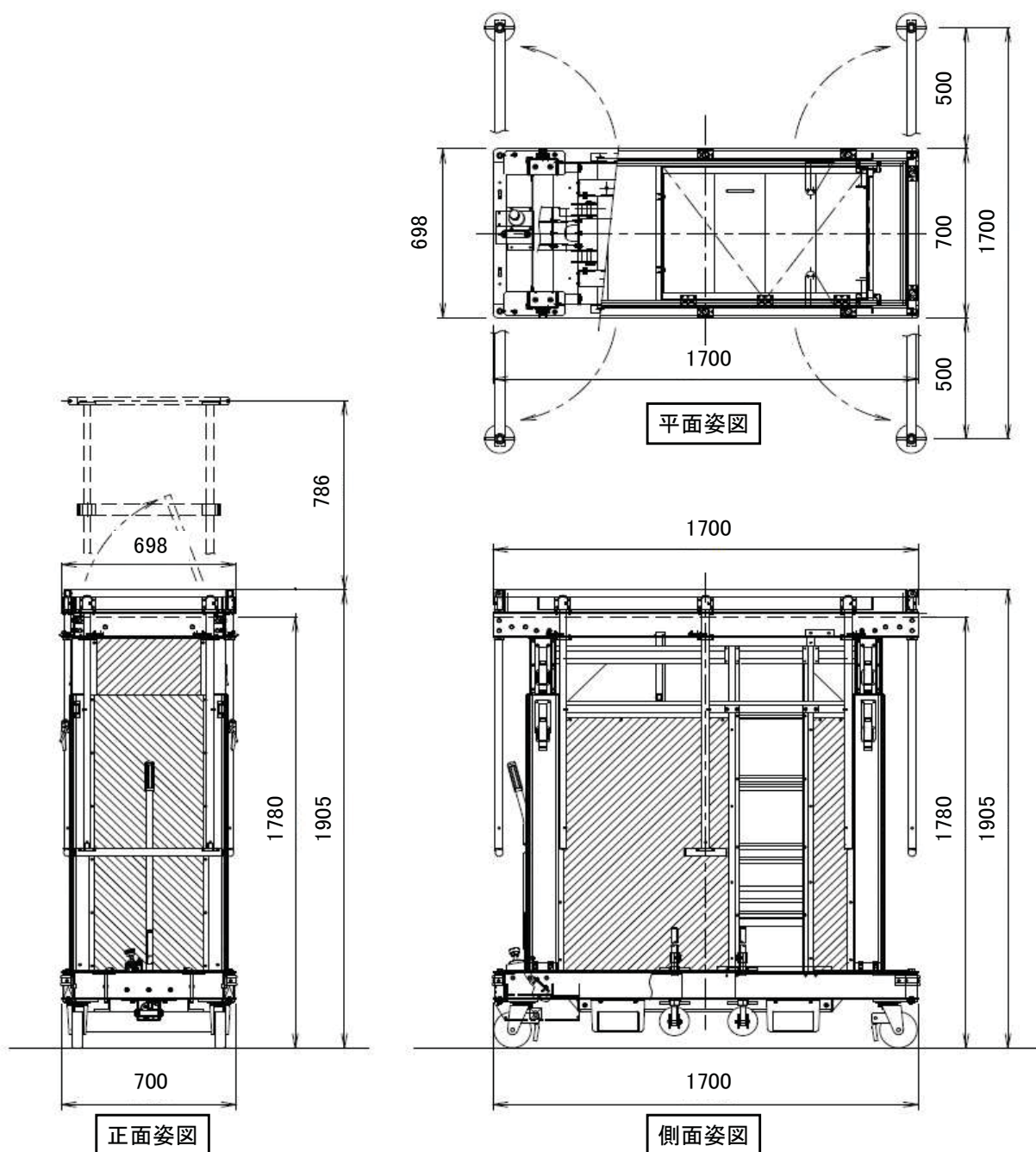
■ ラックスター各部の主な名称です。



6. 昇降式移動足場『ラックスター』仕様

仕様／型式

全体寸法[mm](長さx幅x高さ)	1700 × 700 × 1905	
最大作業床高さ[mm]	3650	
最低作業床高さ[mm]	1780	
固定作業床高さ[mm]	低所設定	1780, 1970, 2170, 2370, 2570, 2770
	高所設定	2950, 3125, 3300, 3475, 3650
アウトリガー張出し幅[mm]	1700	
作業床寸法[mm]	598 × 1600	
最大積載荷[kg]	145	
自重[kg]	350	



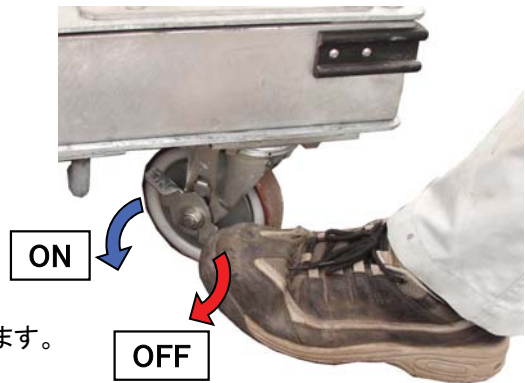
7. 操作手順

I. 台車の固定

① キャスターの固定

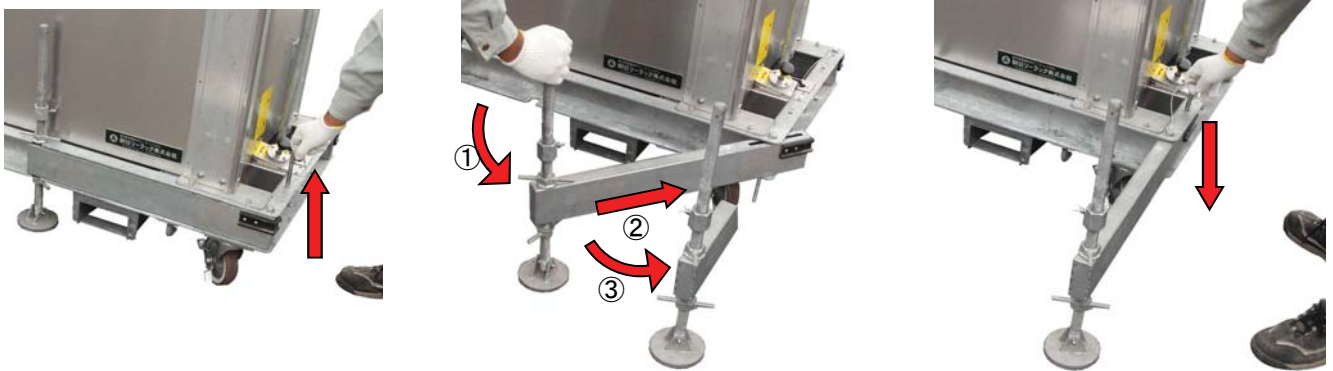
所定の位置に台車を置き4個のキャスターのブレーキをかけます。

“OFF” 側を踏みつけるとブレーキがかかります。



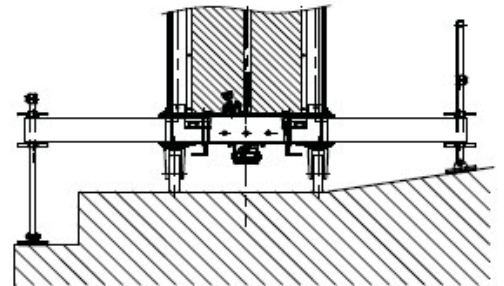
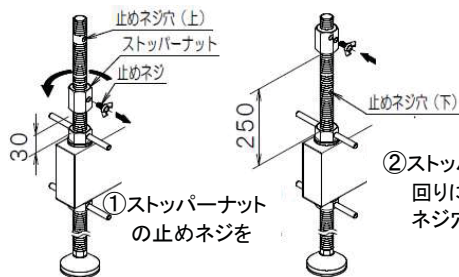
② アウトリガーの固定

1. ストッパーピンを抜き、四方のアウトリガーを開きます。
2. アウトリガーの位置決めピンとベース枠の合せ穴を合し、アウトリガーを90° 開きベース枠側に押し込みます。
3. ストッパーピンを差し込んで固定します。
4. 高さ調整ネジを接地させ、本体の揺れの無いよう上下の調整ナットでレベルを調整し固定します。



◎ 段差のある場所でのアウトリガーの固定

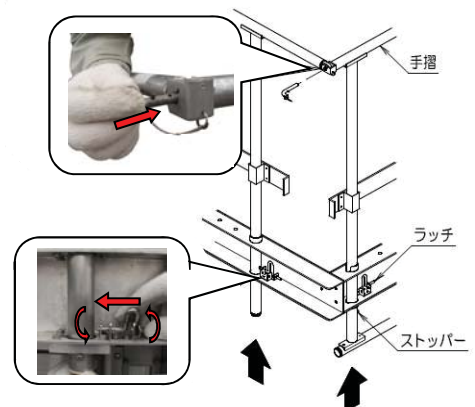
- 通常アウトリガーのアジャスト代は30mmの平地仕様にしてありますが、ストッパーナットを移動させる事により250mmまでアジャストが出来ます



II. 手摺の固定

4面に分割された手摺を1面ずつ定位置に固定します。

1. ストッパーで止まるまで押し上げます。
2. ストッパーで止まった位置で各支柱のラッチを支柱の穴に差し込み固定します。
3. 同じ手順で4面の手摺を上げます。
4. 作業ステージ上に上がり、手摺の4隅のジョイント部にロックピンを差し込み連結します。

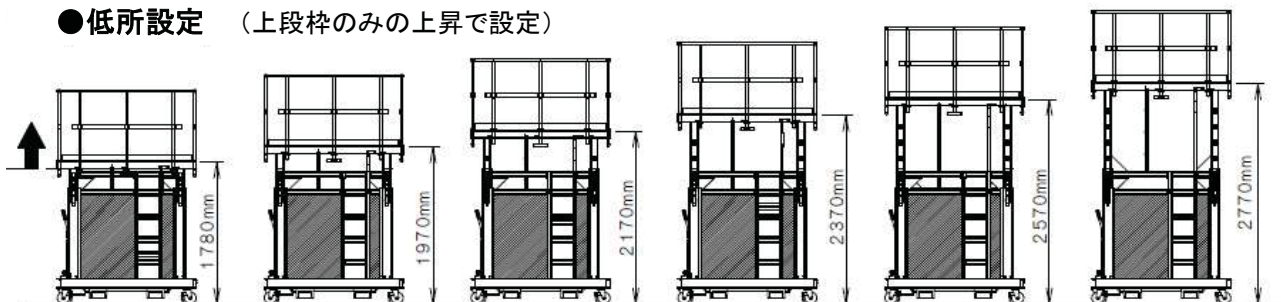


Ⅲ. 上段ステージ枠の上昇、固定

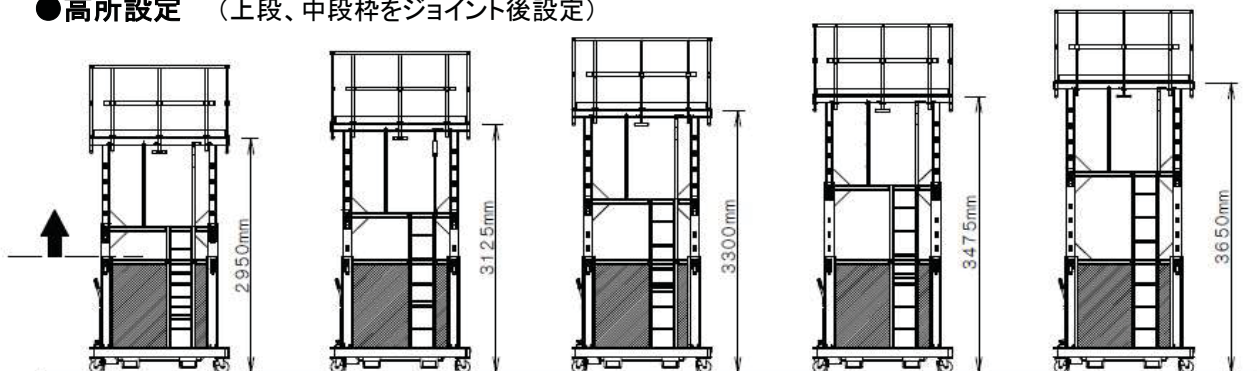
① 作業床の設定固定位置

作業床高さは1780～3650mmまで10段階にセット出来ます。(図は側面図)

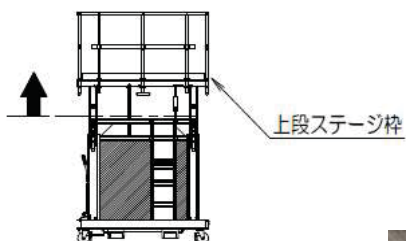
●低所設定 (上段枠のみの上昇で設定)



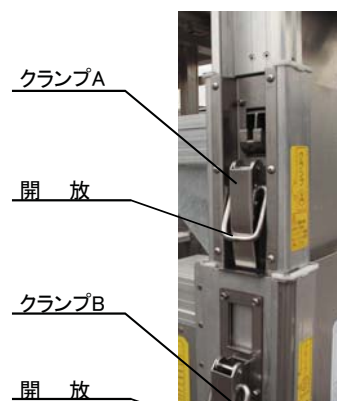
●高所設定 (上段、中段枠をジョイント後設定)



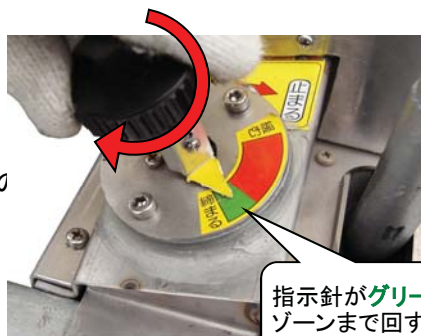
② 上段ステージ枠の上昇、固定



- クランプ解放の確認
“クランプA” 及び “クランプB”
が4隅すべて解放状態を
確認してください。



- リリースバルブの締め付け
ノブを時計回りに廻してバルブの
締め付けを確認して下さい。



- ステージ枠の上昇
作動レバーを差し込み、前後に
動かし上段ステージ枠を上昇させます。



4. 所定高さの確認

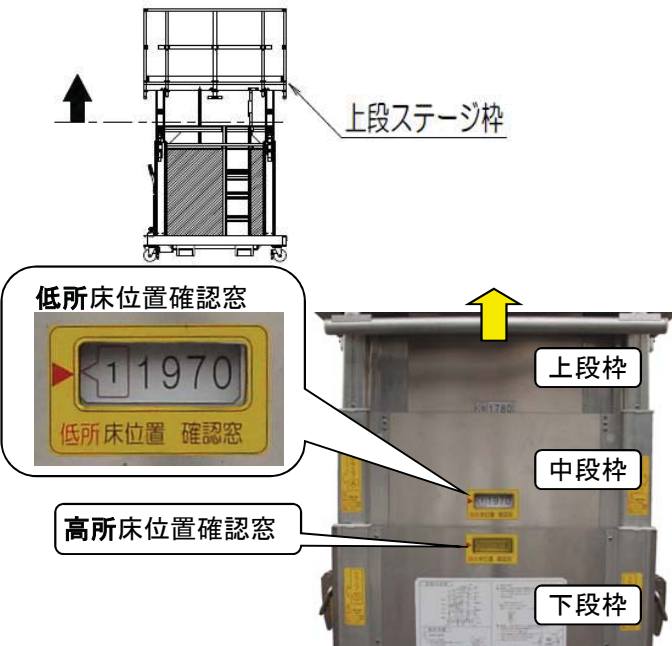
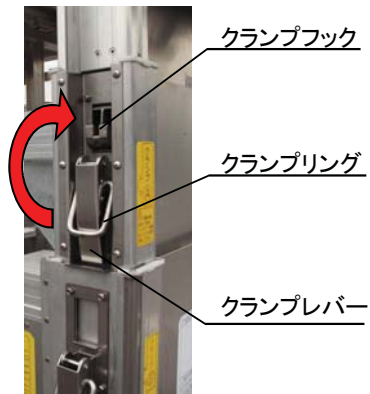
- 低所設定(上段のみを作動し位置固定をします)

設定高さ: 1780~2770

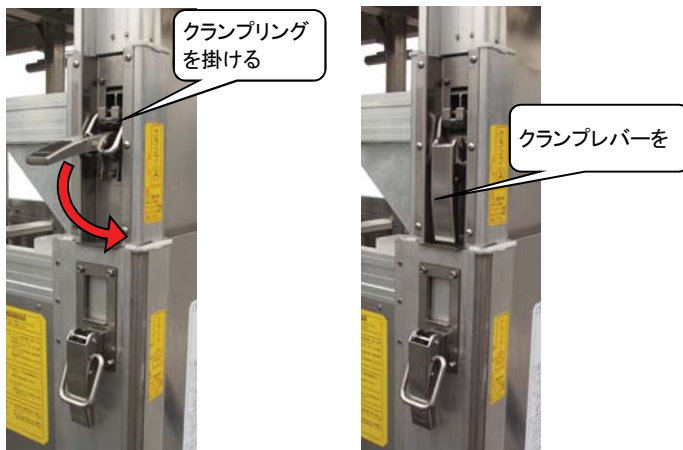
a: 低所床位置確認窓を注視し、設定高さの
高さシールが窓いっぱいになればレバー
操作を止めます。

b: 上段枠と中段枠のクランプ
四隅のクランプAをクランプします。

四隅のクランプフックが出て
いることを確認します。



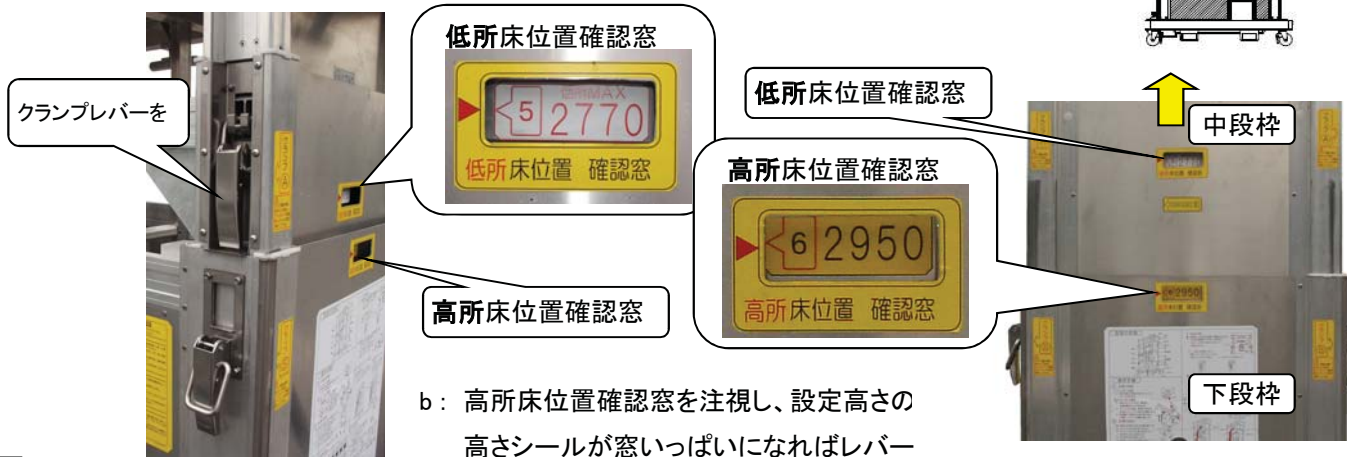
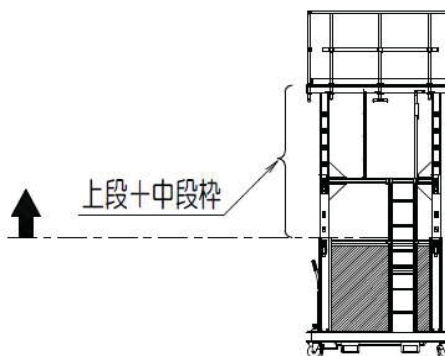
フックにクランプリングを掛け
クランプレバー押え込みロックします。



- 高所設定(上段と中段をジョイント後作動し位置固定をします)

設定高さ: 2950~3650

a: 低所設定で上段と中段を“低所床確認窓” 5番
(2770)でクランプAをクランプし連結します。
(低所設定の項参照)



b: 高所床位置確認窓を注視し、設定高さの
高さシールが窓いっぱいになればレバー
操作を止めます。

c: 中段枠と下段枠のクランプ

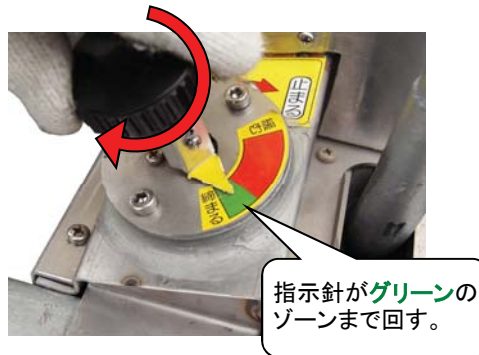
四隅のクランプBをクランプします。

四隅のクランプフック出ていることを確認します。フックにクランプリングを掛けクランプレバー押え込みロックします。



③ リリースバルブの締め付け確認

最後に念のためリリースバルブに緩みが無いよう、再度締め付けて下さい。



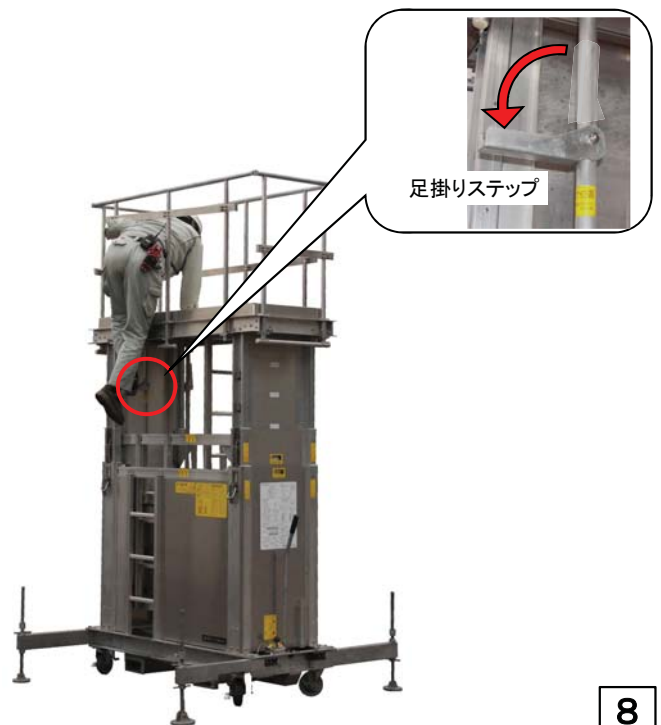
IV. 作業ステージへの昇降

●低、高所設定の場合

- 1 側面梯子を使い中段ステージに上がります。
- 2 上段ステージのハッチを押し上げ内蔵梯子を使い上段ステージに上がります。

●低所設定で中段ステージに入れない場合

- 1 上段の足掛かりステップを開きます
- 2 側面梯子と足掛かりステップを使い手摺の中棧を持ち上げ外部よりステージに上がります



V. 収納手順

① ジャッキのアジャスト

リリースバルブのノブの締め付けを確認します。

シザーズの遊びを無くす為レバーを数回動かし、レバーが動かなくなったら操作を止めます。

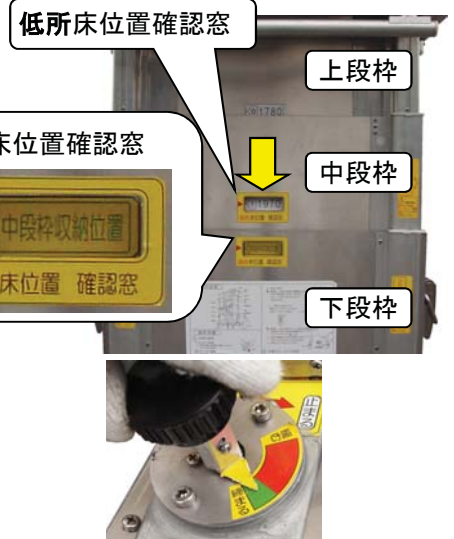
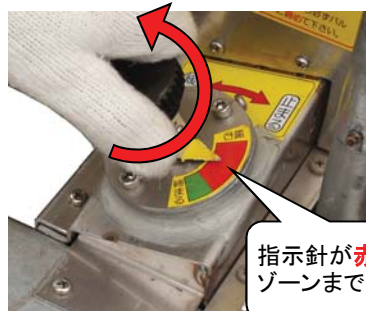
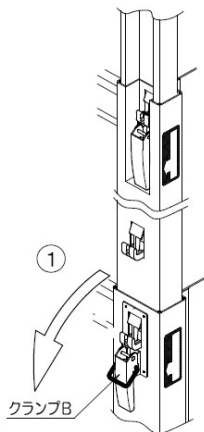


② 上、中段連結枠の降下

下段枠の四隅のクランプ Bのロックを外します。

リリースバルブのノブを反時計回りに少しずつ緩め、上-中段連結枠ユニットをゆっくり降下させます。

高所床位置確認窓を注視し“中段収納位置”の表示が確認窓いっぱいに出たらノブを時計回りに締めシザーズの下降を止めます。

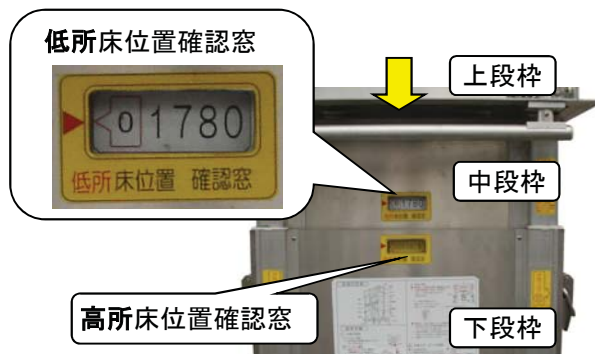
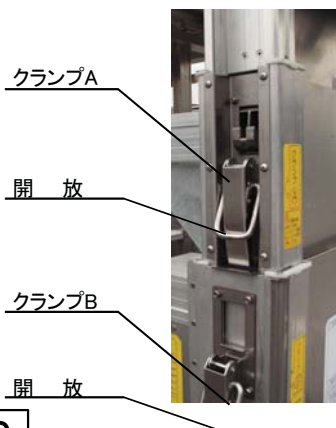


③ 上段枠の降下

中段枠の四隅のクランプ Aのロックを外します。

再度リリースバルブのノブを緩め上段ステージ枠を降下させます。

低所床位置確認窓に“1780”の表示が確認窓いっぱいに出たらノブを時計回りに締めシザーズの下降を止めます。

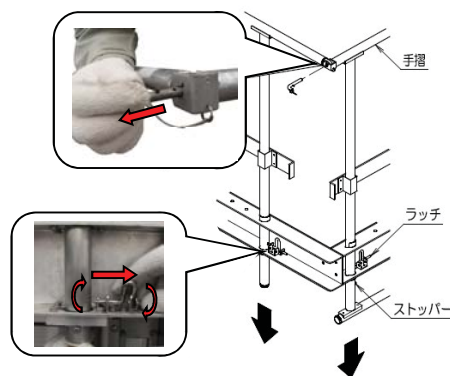


④ 手摺、アウトリガーの収納

1. 作業ステージの降下が終わりましたら

4面の手摺を収納します。

4隅のロックピンを抜きます
収納する手摺のラッチを解除し、
手摺を支えながらおろしていきます。

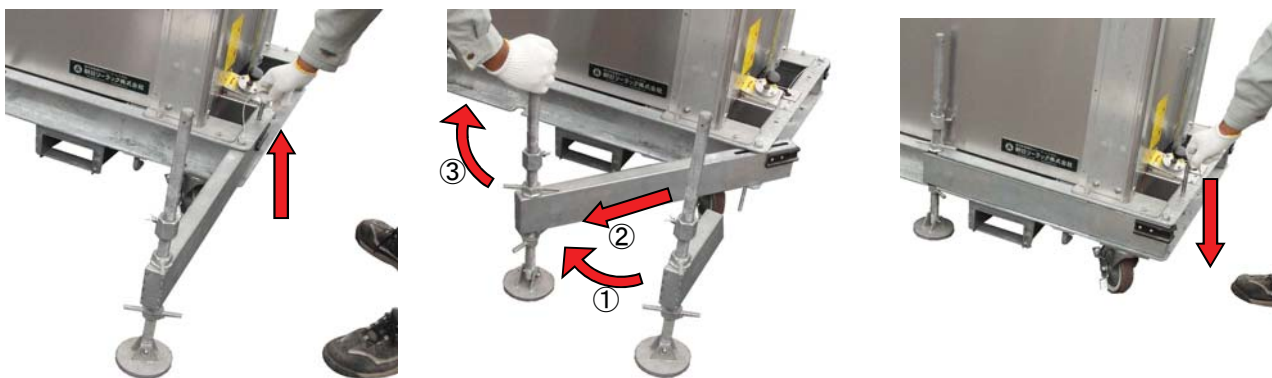


2. アウトリガーの収納

高さ調整ネジを緩め固定を解除します。

ストッパーピンを抜きます

アウトリガーを手前に引きながら90°回転させベース枠に収納し高さ調整ネジを固定します



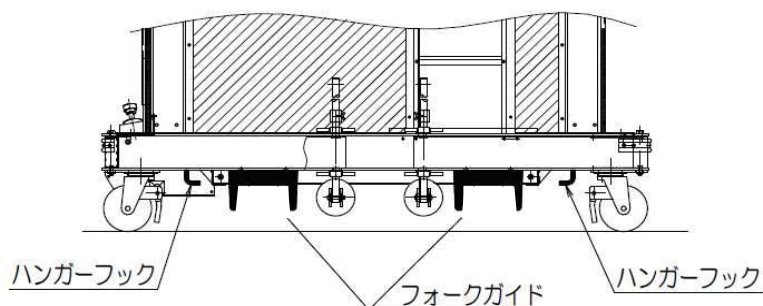
8. 移動、搬送の仕方

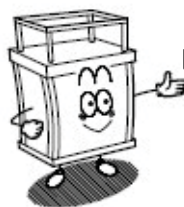
① フォークリフトでの移動

ベース枠下部に常設のフォークガイドを使用して下さい。

② クレーンでの移動

ベース枠下部に常設のハンガーフックを使用して下さい。





■お問い合わせ先



リーラック機材株式会社

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町1-2-1

TEL 03-3667-7411(代表) FAX 03-3667-7418

<http://www.asahi-llk.co.jp/>